

温暖化防止

ストリート



第19号
2006.5.1

「温暖化防止・ストリート」の由来

このストリート（街角）で温暖化防止について語り、情報や人の環が広がっていくことが、温暖化防止への道（ストリート）につながることを願っています。一緒に歩いてみませんか。

気候ネットワーク

～わたしたちはめざします～

1. 抜本的な国内対策で京都議定書の6%削減を！
2. 環境重視の社会経済システムを！
3. 市民・地域主導で温暖化防止の促進を！
4. 政策決定プロセスに市民の参加と情報公開を！
5. 南北の公平をめざし、南の人々と連携を！

目次

- ・用語解説「京都メカニズム」…… P.1
- ・団体紹介「社団法人京都青年会議所」…… P.2
- ・温暖化Q&A・こんなことできる…… P.3
- ・活動紹介・本の紹介・ボランティアの声…… P.4

気候ネットワークの会員同士のつながりを強め、その環を一層多くの人に広げたいと思い、この「温暖化防止・ストリート」を発行しています。

地球温暖化に関する用語解説

京都メカニズム

京都議定書では、先進国に対して温室効果ガスの排出削減が課せられていますが、その目標を達成するための補完的な手段として、京都メカニズムという仕組みが設けられています。これは、他国での削減分を自国の目標達成に利用するというもので、具体的には「排出量取引」「共同実施」「クリーン開発メカニズム」の3つがあります。

「排出量取引」は先進国間で削減量を売買するもので、「共同実施」は先進国同士で、「クリーン開発メカニズム」は先進国と途

上国が共同で対策を実施し、そこで得られた削減量を先進国が利用する制度です。

京都議定書では、削減義務を達成する上での中心は国内での対策であるとされ、京都メカニズムは、あくまでもその補完的な取り組みとされています。日本は、排出削減目標6%のうちの1.6%を京都メカニズムによって賄おうとしています。本来であれば、適切な政策の導入で国内対策や手法を進めるべきです。

(関連記事：気候ネットワーク通信48号4頁)

紹介者

「社団法人京都青年会議所」の紹介です。同会議所ビジョン21室まちづくり委員会委員長の辻拓宏さんから紹介いただきました。



辻 拓宏 さん

私の所属する社団法人京都青年会議所は、京都市内に居住又は、勤務する25歳～40歳までの青年経済人の集まりで、「明るい豊かな社会の実現」に向けて、ひとづくり運動・まちづくり運動に日々取り組んでいます。創立50周年を機会（今から5年前）に発表された「ビジョン21」という行動方針のもと、ひとづくり運動は「教育」を、まちづくり運動においては「環境」をテーマに現在活動をしております。

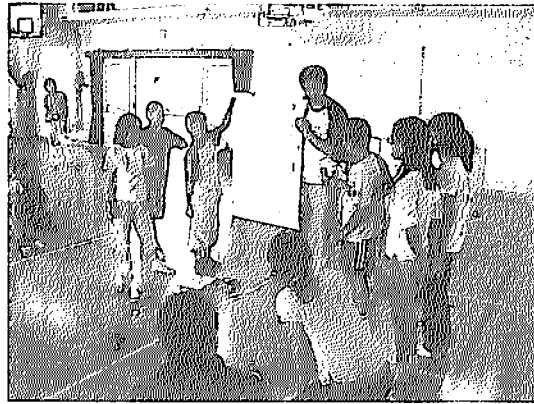
私は、本年度まちづくり委員会の委員長をさせていただいているのですが、ここ最近の具体的な活動として、子どもたちに環境保全意識を啓発しようということで、一昨年には京都市立第四錦林小学校で地域、学校を巻き込んでの学校ピオトープづくりに協力をさせていただきました。

昨年度は、気候ネットワーク、京都市環境局地球温暖化対策課、京エコロジーセンター、（有）ひのでやエコライフ研究所の協力のもと、子どもと大人が環境保全の大切さを認識し、自ら進んで環境問題に取り組む姿勢を持っていただけるよう、日常生活において実践できるプログラムを考え、



今回の団体は

気候ネットワークの団体会員の紹介です。



学校や家庭に提供したいという考えのもと、京都市立常磐野小学校において「子どもエコライフ・チャレンジ」を実施しました。また、実施した内容を運営プログラムという形で冊子を作成し、広く学校に発信して参りました。

今年も昨年に引き続き、「子どもエコライフ・チャレンジ」をより進化させた形で、京都市立常磐野小学校、京都市立御室小学校、京都市立乾隆小学校の3校で実施をする予定です。また、京都青年会議所ではKES環境マネジメントシステムスタンダードのステップ1を取得し、団体内部でも紙資料の削減や毎月環境啓発標語を発信するなど環境意識の啓発に取り組んでいます。私たち京都青年会議所では、日常生活の中で、一人ひとりが環境保全活動へ取り組むことが、私たちの考える「明るい豊かな社会」の実現に繋がると考え日々行動しておりますので、気候ネットワークをはじめいろいろな団体の方と交流を持ち、協力をえながら運動を続けていきたいと思っております。

社団法人京都青年会議所

社団法人京都青年会議所
〒604-0862 京都市中京区烏丸通り夷川上ル京都商工会議所6F

TEL:075-241-3241 FAX:075-241-3244
E-mail:office@kyoto-jc.or.jp URL:http://www.kyoto-jc.or.jp/

第2回 産業部門からの排出ってどうなっているの？

「産業部門の排出量は1990年以降ほぼ横ばいで、民生・運輸部門の排出が増えているから、国民の努力こそ必要。産業部門は絞った雑巾でこれ以上の省エネは無理」ということをよく聞きませんか。実際はどうなのでしょう。

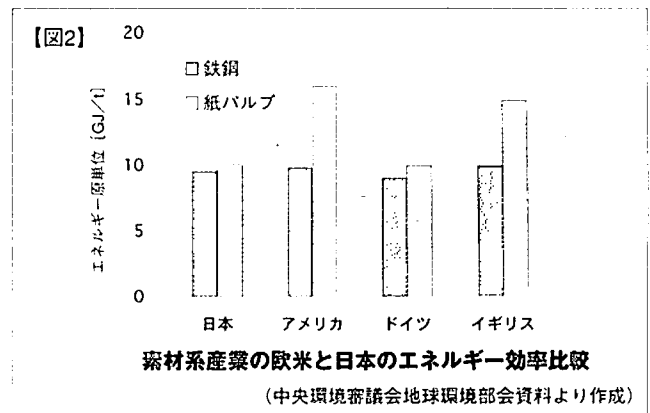
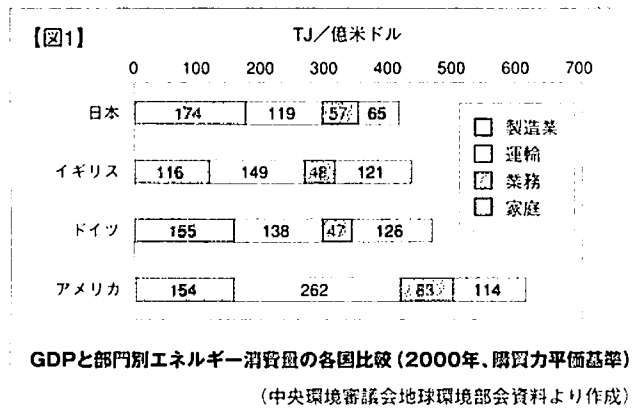
日本のCO₂排出量を主体別にみると、企業・公共部門からの排出が約8割を占めていて、家計関連は約2割です。企業・公共部門での対策が重要なことは明白です。またGDP当たりのエネルギー消費を他国と比べてみると、運輸と家庭部門が小さく、製造業は同程度あるいは大きくなっています(図1)。日本の効率のよさは、家庭と交通部門のエネルギー消費量の少なさが原因であることがわかります。

産業部門の1990年以降の排出量の減少は、生産量の減少が主な原因です。製造業と鉱業の生産を示す「鉱工業生産指数」は5%減少していますが、産業部門全体でエネルギー

消費量は2003年度には14%増加(1990年比)しています。産業部門のCO₂排出量の減少は対策によるものでなく、景気の影響によるものと言えます。

省エネの余地についてみると、鉄鋼業、紙パルプ業を他国と比較するとほとんど差がありません(図2)。また、全体的な効率がいいとしても、削減の余地がないとは言えません。利用可能な最良の設備を全事業所が導入できているわけではないからです。省エネ以外にも、天然ガス等へのエネルギー転換による削減のポテンシャルもあります。

今後は、削減目標の達成を政策で保証できるようなエネルギー効率に対する規制を行ったり、炭素税の導入を行ったりという、温室効果ガス削減に貢献する企業が評価される具体的な対策をいかに盛り込んでいくかが産業部門の課題と言えます。



温暖化防止
ここからできる！



このコーナーでは、「家庭・個人」・「地域・グループ」でできる効果的な温暖化対策を紹介していきます。

今回のテーマは、 節水シャワーヘッド



省エネに気をつけているわりには、お風呂が長いので、ガス代がいっこうに減らないので、節水シャワーヘッドを取り付けました。節水という名前なので水道使用量のみが目がいいますが、効果があるのはガスの節約です。

昨年のガス代に比べると、かなり減ったと思います。自分の生活の変化も考慮するとおそらく月に300円～500円は少なくなってい

るはずで。節水シャワーヘッドの種類はいろいろありますが、私は4200円で購入しました。月に300円ガス代が少なくなれば、1年ちょっとで元はとれます。もちろん水の節約もできますし、無理なく温暖化防止にも貢献できます！取り付けもとても簡単ですので、ぜひお試しください。

岡 優子 (気候ネットワーク)

気候ネットワークの活動紹介

「地域・省エネ相談所モデル事業」

家庭での取り組みを進めていくためには、市民の危機感や責任感といった意識への働きかけもさることながら、具体的な対策とその効果、さらにはそれを実施するための社会的機会を用意する必要があります。

そこで、気候ネットワークでは、省エネについて気軽に相談できる相談所を設け、そこで具体的な診断・アドバイス事業を実施する「地域・省エネ相談所モデル事業」に取り組んでいます。省エネ相談所開設に向けて、とりわけ2005年度は、既存の省エネに関するさまざまなツールの把握・整理と、省エネ相談が実施で

きる人材の養成に取り組みました。

学習会「深めよう省エネ活動！チャレンジ省エネ相談」での、実際の消費生活データから暮らしぶりを読み取り、アドバイスを行う実践的な内容は、参加者にも好評でした。これを経て学習会の参加者による省エネ相談が京エコロジセンターで実施されました。

今後の展開としては、環境学習施設をはじめ大学や区役所、電気店などさまざまな場所での相談所の開設に向けて取り組んでいく予定です。

書籍紹介

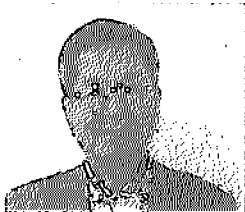


著者：千葉 光行
2005年11月25日発行
発行：株式会社ぎょうせい
価格：1,600円（税込）
ISBN：4-324-07787-8

『1%の向こうに見えるまちづくり』

千葉県市川市では、市民税の納税者が、自ら支援したい市民団体を選り、届け出ることによって、その納税額の1%分を市から団体に対して補助金として交付する、「1%支援制度」が実施されています。新しい市民活動支援の仕組み、税金の使い方として全国から注目を集めています。本書は、同制度を導入した市長自らが執筆したもので、制度の概要や狙い、導入に至るプロセスなどが分かりやすくまとめられています。

ボランティアの声



京都ボランティア 吉田実さん

「気候ネットワークでは
たくさんのボランティアが
一緒に活動しています。
そのボランティアからのコメント！」

皆さんこんにちは。おじさんボランティアの吉田です。
3年ほど前に企業をリタイアして、さて何をやるかと考えましたが、やはり地球環境問題をライフワークにするか、と思いまして気候ネットワークに入りました。この問題にガツブリと取り組んでいる感じがしたからです。はじめは、かなり頻繁に出席していましたが、このごろさぼりがちで、でもシンポジウムなどは出ています。ちょうど70歳になりましたが、今後ともよろしくお願いします。

編集後記

春休みに1ヶ月間パラオへ行ってきました。イルカの飼育を手伝いながら初めて会う友だちと共同生活をしました。パラオでの暮らしは日本のようにモノにあふれていませんでしたが、毎日きれいな海や自然に囲まれてとても幸せでした。

これから、パラオまでの往復で排出したCO₂分の削減に取り組みたいと思います。 (マッキー)



特定非営利活動法人 気候ネットワーク

代表：浅岡美恵 / 副代表：須田睿海 / 事務局長：田浦健朗

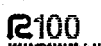
URL: <http://www.kikonet.org/>

「温暖化防止・ストリート」19号
2006年5月1日発行（隔月1日発行）
編集・DTP：松木美佳・平岡俊一

京都事務所（本部）
〒604-8124 京都市中京区高倉通四條上る高倉ビル305
TEL：075-254-1011 FAX：075-254-1012
E-mail: kyoto@kikonet.org

東京事務所
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F
TEL：03-3263-9210 FAX：03-3263-9463
E-mail: tokyo@kikonet.org

古紙100%の再生紙に大豆インクを使用し、電力発電による自然エネルギーで印刷しました。



郵便振替口座：00940-6-79694（加入者名：気候ネットワーク）
銀行振込口座：三菱東京UFJ銀行 京都中央支店 普通口座 1370852（気候ネットワーク）